

ひばり 9

10月号

令和7年10月1日(水)
府中市立府中第九小学校(拠点校)
校長 日野正宏
府中市立府中第一小学校(巡回校)
校長 宮内和夫
特別支援教室「ひばり」

2学期が始まり1か月がたちました。

ようやく暑さもひと段落して、涼しい風や虫の声など、徐々に秋を感じられるようになりました。ひばり教室では、1学期と変わらず元気で前向きに学習に向かう子供たちの姿が見られています。

10月は学校行事に向けた準備が始まり、予定が変則的になるなど気持ちが落ち着かなくなることがあると思います。子供たちの気持ちに寄り添いながら、どうするとよいかと一緒に考え、指導・支援を進めていきます。また、季節の変わり目は体調を崩しやすいため、体の健康にも気を付けて過ごしていきましょう。

2学期の予定(10月)

- 10月13日(月) スポーツの日
- 16日(木) 月曜振替指導日(一小・九小)
- 21日(火) 保護者学習会(会場:一小)
- 27日(月) 一小 振替休業日(九小指導あり)



1、3年生 ひばり教室 理解授業

一小の1年生、九小の3年生を対象に、ひばり教室の理解授業を行いました。ひばりクイズや授業体験を通して、ひばりでどのような学習を行っているのかを伝えることができました。



①連絡ファイルについて

ひばりでは、連絡ファイルを忘れずに持ってくることも学習の一環としています。当たり前の作業を丁寧に行うことを積み重ね、自分ることは自分でできるように指導しています。そのため、ひばりの指導日には、お子様に必ず連絡ファイルを持たせてください。

ご協力のほど、よろしく
お願ひいたします。

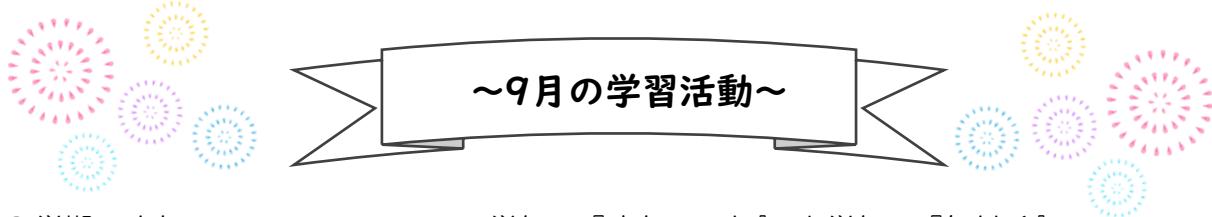


②保護者学習会について

- 期日 10月21日(火)
受付 14:00~
学習会 14:15~15:45
場所 府中第一小学校2階 第2ホール
内容 中学校へ向けて・保護者懇談
持ち物
- ・保護者名札
 - ・上履き
 - ・靴を入れる袋



※参加申込書のご提出ありがとうございました。当日参加も可能です!



2学期のめあて・テーマ

下学年…『まあいいか』、上學年…『気付く』

【9月】		活動
下学年	夏休みを終えて	○夏休みの話（上手な聞き方・話し方）
	自分の気持ち・人の気持ち	○やだからさん（嫌なことでも取り組む大切さ）
	人との関わり方	○こんなときどうする？①（わざとじゃなくてもごめんね） ○こんなときどうする？②（困ったときの援助要請）
上學年	会話のマナー	○夏休みクイズ&トーク ○楽しく話そう（フリートーク）
	困ったときの対処法	○こんなときどうする？「困ったときは…」
	分かりやすく伝えよう	○言葉で伝えよう①（人間コピー編） ○言葉で伝えよう②（ピクトグラム編）

～援助要請について～

社会生活を営んでいく中で大切なスキルの1つとして「援助要請」があります。心理学用語としては、援助希求とも言います。自分から助けを求めるとは問題解決の第一歩であり、自立や社会参加において非常に大きな役割を果たします。しかし、実際にはなかなか援助を求めることが難しい子もいます。その困難さの背景は様々で・・・

①ひとりで解決できることがよいと思い込む

→人の助けを借りず、何でも自分でできた方がよいという思い込み（こだわり）が強い。

②他者意識が薄い

→助けてくれる人がいる、人の力を借りよう、という意識がない。

③対人不安や対人緊張がある

→助けてもらえなかったら、失敗したらどうしようという不安や緊張が強い。

④助けを拒絶されると思う

→要求を拒否された経験の多い子は、助けを求めて無駄と思い込んでいる。



援助要請の難しさの理由は、お子さんによってその都度違います。ひばりでは、色々な学習場面を設定し、援助要請の出し方やタイミングなどのスキルを教え、実践させています。

ただ、定着するためには、聞いてもらえる安心感（援助を求めやすい環境や人間関係）や援助要請をするうまくいくという実感（成功体験）が必要です。「助けてもらうことは悪いことではない」、「助けてもらっていいんだ」と思えるように指導をしています。

ひばりで経験したことが、家庭や在籍学級での日常的な場面でも活かしていけるといいなと願っています。

参考文献

「よくわかる ソーシャルスキルトレーニング実例集（2012）」ナツメ社
「みつむら web magazine」光村図書出版